



あやめ原こども園 令和5年4月

ご入園 ご進級おめでとうございます

春の暖かい陽気と共に、新しいお友達を迎え、心新たに令和5年度をスタートいたします。

新しい環境の中で、安心して笑顔で過ごせるよう温かい保育を心がけ、大切なお子さんの日々を見守っていきたく思います。

一人ひとりの成長に合わせて、一つひとつ、じっくり、ゆっくり、ご家庭と園とで見守り、手と手を合わせていきましょう。

職員一同、力を合わせて頑張ります、一年間よろしくお祈りします。



保育目標

- ☆ 個々の欲求を満たし、安定した生活が送れるようにする。
- ☆ 新しい環境のなかで、安心して遊ぶ。

☆お願い・お知らせ☆

- * 登園が9時30分を過ぎる時や欠席の時は、必ずご連絡をください。
- * 前日や朝に体調の変化がありましたら、必ずお伝えください。
(熱・腹痛・嘔吐・下痢・湿疹など)
- * 誕生会の日のご飯は要りません。(4,5歳児さんは箸箱を持たせてください)
《今月は、19日(水)です。》
- * 26日(水)のお弁当の日、お弁当、デザート、お箸(スプーン・フォーク)・水筒を持たせてください。
- * 進級児も新入児と同様、新しい環境に戸惑ったり、いつもと違う様子が
見られるかもしれません。些細なことでもお知らせ下さい。



日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	対面式(園児のみ) お便り配布
4	火	
5	水	
6	木	体操教室
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	英語教室
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	誕生会
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	英語教室
26	水	お弁当の日
27	木	体操教室
28	金	お便り配布
29	土	昭和の日
30	日	



～子ども(個)の育ちを大切に～



0～6歳の乳幼児期は、これからの長い人生を自分の足で歩いていくことができるように、「自分=個」を育てている時期です。

その育みは、大人が代行してあげることができず、あくまでも子どもが自分の力で、創り上げていくしかありません。子どもの「自ら育つ力」を信じ、子どもの育ちを支えるうえで、必要なのが、「空間」「人間」「時間」の三つの「間」と「余白」です。



《子の育ちに必要なもの》

空間

空間とは、「環境」のことです。適切な環境があることで、子どもは自ら環境に触れて、自身を発達させていくことができます。

人間

まだ知らないことが多い世界で、自分を守り保護してくれる。自分のことを信じ、愛し、包み込んでくれる存在がいるからこそ、子どもは環境の中で自分の力を発揮することができるのです。そこにいる人間(大人)がどんなかわり方をするのか、どんな眼差しで子どもを見るのかが、子どもの今後の発達に大きく影響してきます。

時間

子どもが何かを自分で成し遂げようとするときには、時間が必要です。「今」まさにできるようになっている子どもは、大人の何倍も時間がかかりますがその自分でやる「時間」が保証されているということが乳幼児期にとっては大切です。乳幼児期の中でも、身辺自立を遂げようとする0～3歳の3年間は特に、大人に「待ってもらおう」「時間」がいつそう必要になります。

余白

子どもの育ちには、「空間」「人間」「時間」の三つの「間」にプラスして、「余白」も必要です。余白とは、大人の「心の余白」「精神的なゆとり」のことです。子育ての悩みには、もちろん子どものこと自体もありますが、子育てに関連する周辺の悩みもあると思います。大人が自分を大切に、心を充電できる時間も大切にしたいですね。

「あなたはあなたでいい」と目の前にいる「その子」を無条件で信じることは、子どもに力を与え、自立への道を大きく後押しするパワーとなります。

大人も子どもも、そして子育ても「みんなちがって、みんないい」一人一人のペース・個を大切にしていきたいですね



子どもためにできること

- ・子どもを知り
- ・子どもを尊重して
- ・子どもを信じて
- ・子どもの育ちを支える